DDVE を構築してみた 3

(ddboost 編)

はじめに

数多くの企業で利用され、IDC のバックアップ専用アプライアンス市場調査で 10 年以上シェア No.1 を国内外で続ける Dell EMC PowerProtect DD (旧 Data Domain)。 実はアプライアンス (ハードウェア) だけでなく、 商用としても利用可能な 仮想版: PowerProtect DD Virtual Edition (以降、DDVE) があるのをご存じでしょうか?

ここでは、DDVEの構築手順をいくつかのフェーズに分けてご紹介してまいります。 DDVE には 16TB モデルまたは 32TB モデルで、90 日の利用を可能とした評価ライセンスがございます。 評価後に合わせ正規ライセンス(サブスクリプション形式)をご契約頂ければ、 そのままの環境を本番用としてシームレスに利用継続が出来るため、気軽にトライ頂くことが可能です。 なお 0.5TB までであれば、90 日の利用を期限無しでご利用頂くことも可能です。

前提条件

このガイドでは、vSphere に ddve-7.6.0.7-685767.ova を導入する手順を説明しています。 その他のバージョン、もしくは vSphere 以外への導入につきましては、 別途サポートサイトのマニュアルを参照して下さい。

事前準備

導入する DDVE のバージョンを確認し vSphere や vCenter など、関連するリソースとの Compatibility を確認して下さい。 Compatibility は Dell サポートサイトの Support Matrix から確認できます。 関連するすべてのリソースにおいて、DNS サーバーで正引き/逆引きできように登録して下さい。 関連するすべてのリソースにおいて、NTP サーバーで時刻同期できるように設定して下さい。

ソフトウェア

準備するソフトウェアはございません。

設定値

ここでは、以下の値で設定することを前提で記述いたします。環境に合わせて変更して下さい。

DDVE		10.119.99.75	ddve-01.eval.dps.local
	ネットマスク	255.255.255.0	
	ゲートウェイ	10.119.99.1	
	DNS	10.119.99.71	cent8-01.eval.dps.local
	NTP	10.119.99.71	cent8-01.eval.dps.local
	管理者 ユーザー / パスワード	sysadmin	Passw0rd!
	ddboost ユーザー / パスワード	ddbuser	Passw0rd!

メール(SMTP)サーバー		10.119.99.71	cent8-01.eval.dps.local
	管理者アドレス	ddve-01@cent8-01.eval.dps.local	
	送信先アドレス	mailuser@cent8-01.eval.dps.local	
SYSLOG サーバー		10.119.99.71	cent8-01.eval.dps.local
	ファシリティ名	-	
SNMP マネージャー		10.119.99.71	cent8-01.eval.dps.local
	コミュニティ名	public	

3. Boost 設定

3-1. ユーザーの追加

1	 SSH で DDVE に sysadmin ユーザーでログインします。 ※ 「DDVE を構築してみた 2 (初期設定編)」で設定した、 sysadmin ユーザーのパスワードを入力して下さい。 ※ 「DDVE を構築してみた 2 (初期設定編)」では、 Passw0rd!で設定しています。 	sysadmin@ddve-01#
2	<u>user show list</u> と入力し、 既存のユーザーを確認します。	sysadmin@ddve-01# user show list User list from node "localhost". Name Uid Role Data Center Last Login From Last Login Time Status Disable Date
3	<u>user add ddbuser role admin</u> と入力し、 新規ユーザーを admin ロールで作成します。 ここでは、新規ユーザーを <u>ddbuser</u> 、 パスワードを Passw0rd! で設定しています。	sysadmin@ddve-01# user add ddbuser role admin Enter new password:Passw0rdl Re-enter new password:Passw0rd! Passwords matched User "ddbuser" added.
4	<u>user show list</u> と入力し、 新規ユーザーが admin ロールで追加されたことを 確認します。	sysadmin@ddve-01# user password aging show Name Uid Role Data Center Last Login From Last Login Time Status Disable Date sysadmin 100 admin 10.91.138.219 Tue Oct 12 13:47:34 2021 enabled never ddbuser 500 admin unerr unerr dbuser found

3-2. パスワード有効期限の変更

1	<u>user password aging show ddbuser</u> と入力し、 ddbuser のパスワード有効期限を確認します。	sysadmin@dve-01# user password aging show ddbuser User Password Minimum Days Maximum Days Warn Days Disable Days Status Last Changed Between Change Before Expire After Expire ddbuser Oct 12, 2021 0 90 7 never enabled
2	<u>user password aging set ddbuser</u> <u>max-days-between-change 99999</u> と入力し、 ddbuser のパスワード有効期限を制限なしに変更します。	sysadmin@ddve-01# user password aging set ddbuser max-days-between-change 99999 User "ddbuser's" password aging information has been updated.
3	<u>user password aging show ddbuset</u> と入力し、 ddbuser のパスワード有効期限が制限なしの 99999 に 変更されたことを確認します。	sysadmin@ddve-01# user password aging show ddbuser User Password Minimum Days Maximum Days Warn Days Disable Days Status Last Changed Between Change Between Change Before Expire After Expire ddbuser Oct 12, 2021 0 99999 7 never enabled

3-3. ddboost の有効化

1	<u>ddboost status</u> と入力し、	sysadmin@ddve-01# ddboost status DD Boost status: <mark>disabled</mark>
	ddboost が disabled であることを確認します。 ※ ddboost が enabled の場合は <u>ddboost disable</u> と入力し、 disabled に変更します。	
2	<u>ddboost enable</u> と入力し、 ddboost を有効にします。	sysadmin@ddve-01# ddboost enable DD Boost enabled.
3	<u>ddboost status</u> と入力し、 ddboost が enabled であることを確認します。	sysadmin@ddve-01# ddboost status DD Boost status: <mark>enabled</mark>

3-4. ddboost ユーザーの設定

1	<u>ddboost user show</u> と入力し、 設定されている ddboost ユーザーを確認します。	sysadmin@ddve-01# ddboost user show Ddbusers not found
2	<u>ddboost user assign ddbuser</u> と入力し、 ddboost ユーザーに ddbuser を設定します。	sysadmin@ddve-01# ddboost user assign ddbuser User "ddbuser" assigned to DD Boost.
3	<u>ddboost user show</u> と入力し、 設定されている ddboost ユーザーが ddbuser で あることを確認します。	sysadmin@ddve-01# ddboost user show Ddbuser Using Token Access

「DDVE を構築してみた 3(ddboost 設定編)」はここまでとなります。問題なく ddboost 設定できましたでしょうか。 これで DPS のバックアップ製品から、ddboost でアクセスできるバックアップデバイスが完成いたしました。 DPS のバックアップ製品から、ddboost によるバックアップデバイスとして、是非ご活用して見て下さい。